

安楽寺だより 第44号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します。家族みなでお読みください。)

気負わずに出来ることをコツコツと

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症は今なお世界中に広がり続けていて、ワクチンと治療薬への期待がますます高まっています。一日も早い収束を願いつつ、すべての方にお見舞い申し上げます。

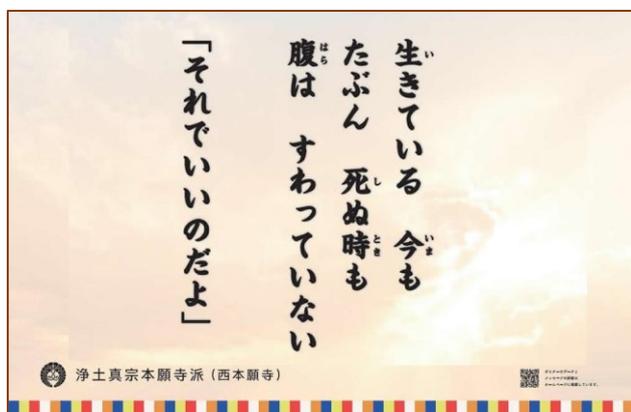
こんな時だからこそ、自分を、そして周りの人を^{ねぎら}労う心が大切ではないでしょうか。



私たちはいま、大きな喪失感の中にいると思います。「これまでの日常」を失くし、「これからの楽しみ」を我慢しているからです。誰しもが我慢しているからと自らの試練にしてしまうとさらに苦しくなります。

たとえ戸惑ったとしても、今は「それでいいのだよ」と自分の気持ちに正直になれたら、窮屈になった心を和らげることが出来るかもしれません。

背伸びせず、今自分に出来ることをコツコツと積み上げていきたいものです。



京都西本願寺発行のメッセージポスター

《あれこれ抄》

▼秋の「安楽寺だより」をお届けします▼テレワークが推奨され、オンラインで会議をする機会があります▽接続すると画面にまず自分が映るのですが、しかも画面をしていてハツとさせられません▽誰に見せるわけでもありませんが、周りの人に見られる顔もマスクの中の表情も穏やかでありたいものです▼かつて十月十日と言え「体育の日」でしたが、今では「スポーツの日」と名前が変わり、日付の変動する祝日になりました▽今年と来年に限っては東京オリンピック開会式の日に移動すると知りビックリです▼最近の傾向から台風や豪雨などの自然災害がまだしばらくの間は心配です▽出来る限りの備えをして最新情報をチェックするように心掛けましょう。

秋の彼岸会法要をお勤めしました

去る9月22日(秋分の日)午後1時から秋の彼岸会法要を執り行いました。本堂の参拝者は少人数となりましたが、讃仏偈を一緒にお勤めしました。

今は亡き大切な方々のお名前を法名簿としてお預かりしましたので、法要に先立ち尊前にご奉告しました。



新型コロナウイルスを心配しながらも、ほぼ例年通りに多くの方々がお墓参りに足を運んでくださいました。たくさんのお花の

供えられた墓地は、とても華やいだ様相になりました。

ようこそお参りくださいました。



祝 前坊守 米寿

住職の母である前坊守は7月19日に無事88歳の誕生日を迎えることができました。



おかげさまで、前住職と二人揃って元気に過ごしています。

安楽寺総追悼法要のお知らせ

来たる12月20日(日)の午後に、この1年間にお亡くなりになった方を偲ぶ合同追悼法要を行います。

安楽寺にご縁のある方々に声を掛けさせていただきます。

該当される方には11月中旬に改めてご通知いたします。



お詫び(訂正)

安楽寺だより第43号に「まめ知識」として仏教用語の多くが呉音読みであることの説明をする際、中国王朝が「漢の前の呉だった」と書いた点、誤りでした。漢王朝は呉より前でした。



親鸞聖人のご生涯について ～報恩講を迎えるにあたり～

親鸞聖人をご縁とする報恩講を迎えるにあたり、聖人のご生涯をたずねてみましょう。

●誕生と出家（9歳）

承安3（1173）年、平安時代から鎌倉時代に移り変わる頃にご誕生。9歳で出家し比叡山での修行生活が始まりました。

●法然上人との出遇い（29歳）

29歳の時、生死出ずべき道を求めて比叡山仏教と決別し、聖徳太子ゆかりの六角堂に籠ります。夢告に導かれお念仏の道を説く法然上人のもとを訪ねます。以後、上人を生涯の師と仰ぎ、念仏者として歩み出されました。

●越後・関東での生活（35歳から60歳ごろ）

お念仏の教えは旧仏教教団から激しい非難を受け、ついに

35歳の時、朝廷より念仏停止が命じられ親鸞聖人は越後（新潟県）に流罪となります。39歳の頃に流罪は許されましたが、法然上人が往生されたことを知り、京都に戻らず、関東へ赴かれます。稲田の草庵（茨城県）を中心に多くの念仏者を育てられ、52歳の頃、浄土真宗の教えを体系的に述べられた『教行信証』を著されました。

●京都での生活（60歳ごろから90歳）

63歳の頃、関東から京都に戻られ、以後、亡くなるまで多くの著述を残されます。弘長2年11月28日（新暦1263年1月16日）、90年の生涯を終えられました。



（親鸞聖人影像 安城御影）

以後、親鸞聖人のご命日を縁とした報恩講が連綿と受け継がれています



墓地のススキ（9月）

感染防止策を整え安全に配慮して、寺ヨガなどのイベントも徐々に再開しています。



《季節の思い出》



墓地の彼岸花は9月末になってやっと綺麗に咲きました。

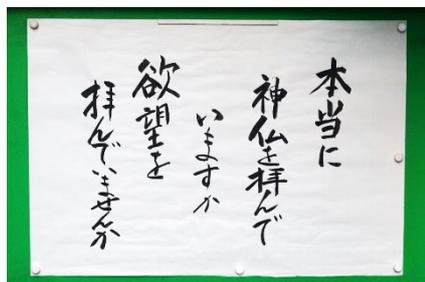


8～9月にスズムシが美しい音色を聞かせてくれました。港区内9つの保育園にお分けするご縁があって、たいへん喜ばれました。

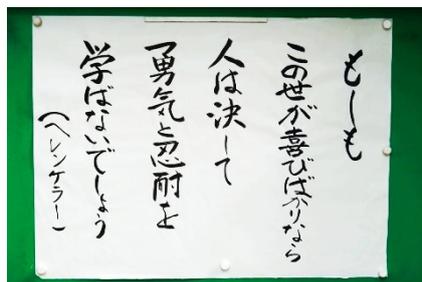


月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

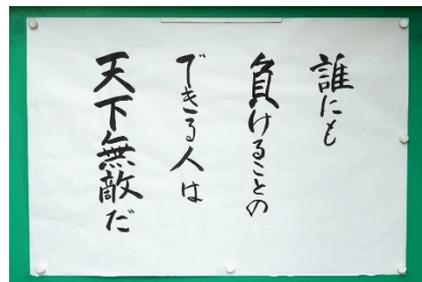
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(筆・前住職)



2020年8月



2020年9月



2020年10月

令和2年の安楽寺報恩講について

安楽寺では毎年11月10日に報恩講をお勤めします。今年は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、工夫して開催いたします。お斎(お食事)の席は設けず、他のお寺にご出仕・ご出講をお願いしませんが、感染防止対策をしっかりと講じた上で、例年通りお飾りを整え、報恩謝徳の心を込めて懇ろにお勤めすることにいたします。

日時:11月10日(火) 午後1時～

- ・お出掛けできる方は、ぜひ本堂にお参りください。
- ・インターネットを通じて法要の様子をご覧いただけるようにライブ配信もします。宜しければ画面を通してご参詣ください。

<https://www.anraku-ji.org/live.html>



●安楽寺では新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じています



- ・マスク着用の徹底をお願いしています
- ・手指消毒液(エタノール)を数か所に設置しています
- ・座る場所の間隔を広く取るようにしています
- ・窓を開けて十分な換気を行っています
- ・注意喚起のポスターを数か所に掲示しています
- ・複数の人が触る物品を減らしています
- ・忘れられた方のためにマスクを備えています



「定例法話会」の今後の予定(毎月**第3日曜日** 午後**2時**～)

新型コロナウイルス感染拡大防止策を整え、安全に十分に配慮して開催します

10月18日(日) 11月15日(日) (12月はお休みです)